

12月の電話相談・来室相談から ～ 親切と余計なお世話 ～

小学校でのことです。はたから見ていても悪口を言っているわけでも言い争っているわけでもなくごく普通の関係に見えていたA子とB男でしたが、夕方、母親から「娘がB男からいじめられているようだ。私を標的にしていると言って泣いている」と電話がありました。翌日、担任はA子とB男から話を聴きました。いじめたと名指しされたB男は、思い当たるようなことはないと言いますが、そう思われたのなら・・・と納得がいかないままペこりと頭を下げ「ごめんなさい」を口にししました。A子は「これからはあんなことを言わないでほしい」と気持ちを伝えたので一件落着かと思われましたが、A子まだ何か引っかかることがあるようで、両者ともしっくりいかないまま時間が過ぎていきます。幸い、双方の親御さんには理解していただき問題がこじれてはいませんが、毎日、クラスで二人は顔を合わせます。担任はあれからずっと二人の様子を注意して見守っています。



学校現場ではくふざけ・じゃれあい・からかい・悪口・言い合い・けんか>など、それぞれ様々なトラブルが起こります。それらとくいじめ>の区別をつけるのは簡単ではありません。くいじめ>かどうか迷う例はたくさんあるようです。

好きな人や尊敬している人から言われたことは、きついことでも結構素直に聞けたりすることがあります。そして、その人の言葉に従って「がんばろう」という気持ちになったりします。けれども一般に、親しくない人から自分の欠点などを指摘され「直せ」と言われても素直に聞けないことが多いものです。

「せっかく忠告してやったのに無視する」「ここまで言えば、いい加減分かるだろう」「どうしても分からせたい」と思えば思うほどそれはきつく暴力的にもなります。最初は「相手のために」と思って言ったりやったりしたことがきっかけだったかもしれません。親切心でしたことが、相手にとっては余計なお世話にもなるのです。相手に喜ばれるような親切やアドバイスをすることはとても難しいことです。それは相手の立場に立って考えてみることができなければならないからです。

「自分自身の成長を実感」

今年度も9ヶ月が過ぎ、反省をまとめる時期を迎えました。当クラスの生徒たちにも自分のこの間の成長（努力）がどうだったのか、振り返る機会をもちました。うれしいことに生徒たちは、年度当初の自分より成長している（8割強）と肯定的に答えています。そこに至るまでには、自分と真に対峙してある程度超えることができた実感できることが心に残っているからでしょうか。



その具体的な姿として、シャイニングクラスに毎回通えるようになった、自分の気持ちを周囲の人に伝えることができるようになった、定期的に登校できるようになりテストも受けることができた、逃げない自分になってきている、等々を挙げています。さらに深く、以前は周囲に合わせて生活し自分の意見や気持ちを伝えることができず、心を閉ざし学校にも行けなくなった当時の自分を思い出している生徒もいました。しかし完璧にできるようになったかという点とまだ程遠くこれからも努力は欠かせないと、自己分析しています。

逆にあまり成長していないと答えた生徒は、未だに弱い自分、自分に負けてしまっている姿を記しています。

残り3ヶ月どんな点を成長させて締めくくりたいかという問いに、受験から目を背けず学習を継続し

学力を向上させること（3年生全員）、人間的な成長（周囲を見て落ち着いて行動できる力）、人を和ませる力やコミュニケーション力、体調管理等。

やはり一人ひとりが素直に自分と向き合っています。平々凡々とした日々の中にも、“周囲に合わせていても強い心を持っていたいと努力し続ける自分”を描き求めていることが見てとれます。間もなく新しい年を迎えます。この生徒たちの思いを尊重しながら、焦らず支援していきます。

「外部講師によるキャリア教育」

去る11月27日に和順館高校の小田文斗先生をお招きして、進路学習会を行いました。①高校生活の様子（楽しいこと・厳しいこと等）を理解する。

②受験に向けての心構えや受験までの日常生活の過ごし方について考える。

③面接時の心得について理解する。④全員が高校の先生と関わる場面を持つことで自信を得る時間とする。をねらいに、高校の先生から直接講話をしていただきました。中学3年生4人が緊張の中、一言も漏らすまいという面持ちで聴いていました。その後、「面接」はどんなことを聞かれるのか、和順館高校の入試はどのように行われるのかなどの質問や、学力が伸びず悩んでいること、先生とうまくやっていけるか、通学できるか、友だちができるか心配なこと等、中学校になかなか行けてない生徒ならではの心配が多く出されました。学習後の反省には「オープンスクールには行けなかったので、今日高校についてのお話を聴けてよかった」「高校について一歩深く知ることができた」

「公立高校でも学校に行っていない人がいたということがわかった」「先生のお話はこれからの学校生活・生活について、とてもためになりました。今まで不安に思っていたことが、少し軽くなったような気がします。今日は貴重なお話が聴けて本当によかったです」と記していました。

進路選択・進学先決定はだれにとっても夢と希望をかなえるための選択・決定にしたいものです。決定が思い通りに行かず情緒不安定に陥ってしまうことが多い中ですが、少し前進できた貴重な時間でした。ご協力くださった小田先生はじめ皆様有難うございました。



小田文斗先生を講師に
キャリア教育（11/27）

あ と が き

20回目となる世相を表す今年の漢字は「税」。今回は「今年の漢字」係あての応募ハガキを準備し、同僚と通級生に声を掛けて応募しましたので、12日の発表は楽しみでした。今年も様々な出来事や話題がありました。「日本人3氏のノーベル賞受賞」「日本テニス界の歴史を塗り替えた錦織選手の活躍」「御嶽山の噴火」「モンテのJ1復帰・天皇杯準V」等々、そして、流行語大賞は「ダメよ～ダメダメ」「集団的自衛権」でした。

最も記憶に残るものは、ノーベル平和賞受賞のマララ・ユスフザイさんが女子教育の権利を訴えた国連でのスピーチです。「一人の子ども、一人の教師、一本のペン、そして一冊の本が世界を変えられる。教育こそ唯一の解決策です。」銃撃を受けても屈しない強い信念、そして、授賞式での17歳の少女の力強いメッセージは歴史に残る言葉になるものと思います。2014年も残すところ僅かとなりました。来る年が皆様にとりまして、よき年でありますことをご祈念申し上げます。

11月の活動 シャイニングクラス在籍 7名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動（月2回）

- ◆ 体験活動⑱ 12月4日（木）
「どんぐりトトロツリーづくり」



どんぐりトトロツリー
生徒作品（12/4）

- ◆ 体験活動⑲ 12月17日（水）「おいしいお菓子づくり」

気楽に話し合う会 12月19日（金）
「わくわく新庄」午後7時～9時

教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室（シャイニング）
TEL 22-2111
（内線 445、448）
林、小野、鈴木が担当です。